

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます (2016年12月5日)

■第1版 第2刷 (2008年3月10日発行) と第1版 第3刷 (2011年4月15日発行) の修正箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784897064192_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
2章-2. in situハイブリダイゼーション用プローブの作製					
p67~ p70	i) プローブの設計法	現在、「プローブサーチ」は停止しています。代替りのソフトとしてPrimer3をご利用ください。 http://bioinfo.ut.ee/primer3-0.4.0/ (2014/05/29)			14/05/29
3章-1. 固定法					
88	9行目, PBSの組成	PBSの組成が現在の一般的なものと異なっています。 一般的なPBS組成を以下に記します; NaCl: 137 mM KCl: 2.7 mM Na ₂ HPO ₄ : 10 mM KH ₂ PO ₄ : 2 mM (最終濃度 [mM] で示している) (出典: Molecular Cloning: A Laboratory Manual, Fourth Edition, 2012)			16/12/05
5章-1. 組織切片in situハイブリダイゼーション法					
136	4~5行目	最終濃度0.1~1 mg /mlになるように	最終濃度0.1~1 μg /mlになるように		09/12/25